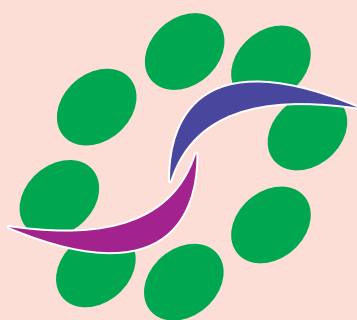




広域だより

発行：渋川地区広域市町村圏振興整備組合 総務課
構成市町村：渋川市・吉岡町・榛東村

くつろぎと出会いの圏域

コスモスガーデン・渋川広域圏

vol.69

2009年12月15日



いざという時 大切な命を守るために

11月27日に伊香保中学校で行われた「救急講習会」。生徒たちは心肺蘇生法やAEDの使用
方法など、人命救助の基礎を学びました。

目次 〈主な内容〉

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ・組合の財政……………2 | ・防火ポスターコンクール…5 |
| ・夜間急患診療所の
時間延長について…3 | ・農業共済事業実績…………6 |
| ・防火対策はできていますか?…4 | ・農業共済課移転のお知らせ…7 |
| | ・インフォメーション……8 |

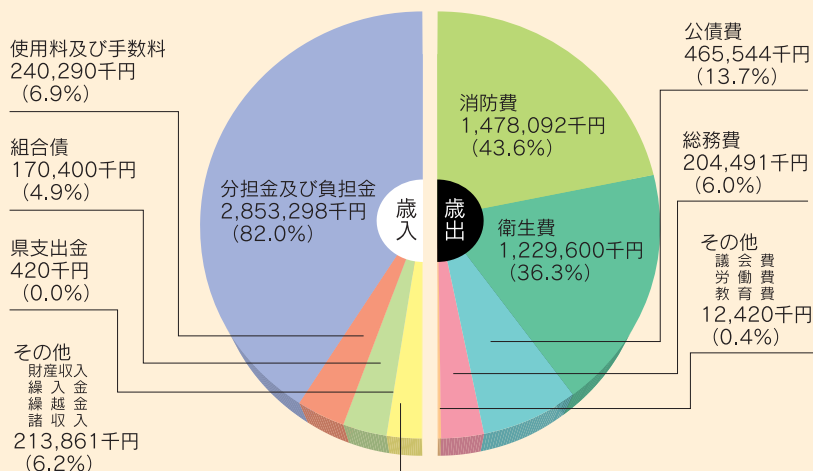
組合の財政

平成20年度決算報告

平成20年度の一般会計決算および特別会計決算が、広域組合議会10月定例会で認定されました。
各事業の執行については、厳しい財政事情の中で、経費の節減を図りながら最大の効果が得られるよう、効率的な執行に努めました。
一般会計の決算額は、歳入34億7,826万9千円、歳出33億9,014万7千円となりました。
農業共済事業特別会計の決算額は、収入2億1,895万1千円、支出2億1,548万1千円となりました。

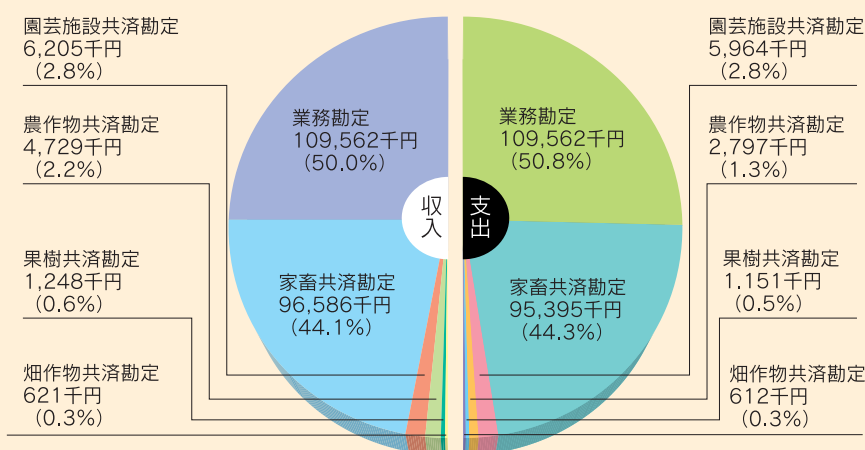
●一般会計決算

歳入合計 3,478,269千円 歳出合計 3,390,147千円



●農業共済事業特別会計決算

収入合計 218,951千円 支出合計 215,481千円



組合の借入金について

(平成21年9月30日現在)

借入金の残高 1,802,993千円



互助会（職員共済会）に対する助成の状況

(平成20年度)

項目	金額等	
①互助会に対する助成金の額	1,879千円	※助成金は、職員の健康管理対策(人間ドック費用一部助成)と職員の団体保険掛金(死亡弔慰金)に使われています。
②会員による掛金の額	2,558千円	
③公費負担率①/(①+②)	42.3%	

主要事業の成果について

●ふるさと市町村圖事業

渋川地区広域圏が一体となって魅力あるふるさとづくりを行うため、広報「広域だより」を発行し、圏域の行政情報を提供しました。また、構成市町村の特徴ある緑化および花いっぱい運動に助成等を行うグリーンフラワー事業を実施しました。

●救急医療事業

休日在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制および夜間急患診療所を渋川地区医師会と渋川北群馬歯科医師会の協力を得て実施し、地域住民の常時診療体制の確立に努めました。

●火葬場・斎場事業

圏域住民が利用しやすい施設をめざして、渋川広域斎場「しらゆり聖苑」の管理運営に努めました。

●ごみ処理事業

清掃センターでは、ごみ処理業務の充実を図るため、すべての祝祭日(年末年始および土・日曜日を除く)のごみ受入を実施し、各設備の点検整備を行いました。

リサイクル施設において、びん類とペットボトルの再資源化に努めました。

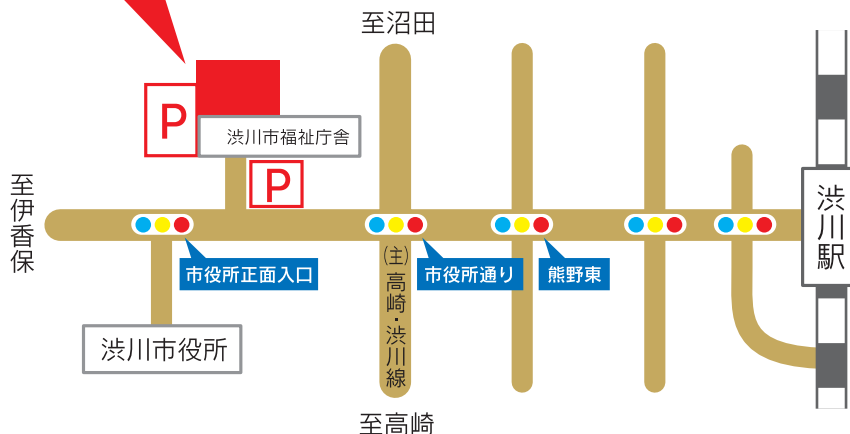
渋川地区夜間急患診療所の時間延長について ～新型インフルエンザ対策～

夜間急患診療所では、新型インフルエンザ患者が増えているため、流行が落ち着くまでの間、**土・日曜日、祝日及び年末年始の診療時間を、1時間早めて午後6時から**としますのでお知らせいたします。

- ◆診療時間 平 日:午後7時～午後11時まで
土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日):午後6時～午後11時まで
- ◆診療科目 初期診療:内科、外科、小児科
- ◆電話番号 ☎23-8899

※新型インフルエンザの流行状況により、診療時間が変更になる場合があります。
事前に電話連絡してから受診してください。

夜間急患診療所



●し尿処理事業

環境クリーンセンターでは、処理業務の遂行に万全を期するため、二次処理設備、脱臭装置等の点検整備を行いました。汚泥処理については、清掃センターで焼却を行い、その適正処理に努めました。

●消防救急事業

圏域住民が安心して暮らせるまちづくりをめざして、各種火災予防対策を実施しました。また、救命率の向上を図るため、救急救命士の養成を行いました。

車両では、東分署（渋川市赤城町三原田）の老朽化した水槽付きポンプ自動車を更新しました。

●教育関係事業

圏域住民の健全なレクリエーションの場として利用される、広域圏プールなどの運動施設の管理に努めました。

●農業共済事業

当圏域では、近年の地元生産、地元消費の気運の高まりを受けて、米、麦、露地・施設野菜、花、果樹、畜産と多種多様な農業が展開されています。

農業共済事業では、農家の経営安定のために、共済連絡員などの共済組織、関係機関の協力を得て、事業推進を図りました。

火災件数の推移

	1月～3月(構成比)	年 間
平成19年	36件(50.7%)	71件
平成20年	21件(34.4%)	61件
平成21年	23件(-)	50件 (10月末日現在)

※構成比は、1年間(1～12月)に発生した火災に占める割合。

平成20年火災の出火原因

	渋川広域圏(構成比)	全 国
1位	放火・放火の疑い 10件(16.4%)	放火・放火の疑い 10,776件(20.6%)
2位	たばこ 9件(14.8%)	コンロ 5,534件(10.6%)
3位	コンロ 4件(6.6%)	たばこ 5,063件(9.7%)

※構成比は、すべての火災原因に占める割合。

●出火原因の第1位は「放火」(放火の疑いを含む)
渋川広域圏において発生した火災原因で平成20年中、最も多かったのは「放火」(放火の疑いを含む)でした。
放火火災の傾向としては、冬から

春先および夜間から明け方(夜8時から朝6時)にかけて多く発生しています。
近年の放火は、相手と場所を選ばなくなってきたのが大きな特徴で、特に人目に付かない場所と時間に要注意です。



●放火はどのようにして防ぐのですか。

放火は、他人の生命や財産を無差別に奪う凶悪犯罪です。放火を防ぐには地域住民の方と行政機関が連携して「放火をされない、放火をさせない、放火をされても被害を大きくさせない」ことを基本に対策を考える必要があります。

●地域における放火防止対策

放火の危険から地域社会を守るためには、危険要因を排除するように努めるとともに、地域の実状に即して、町内会、自治会、自主防災組織、事業所、関係機関などが一体となり協体制を確立し、放火されにくい地域環境をつくり出す必要があります。

また、放火犯は人を嫌う傾向が強いので、近所で知らない人を見たら会釈やあいさつをすることで、意外と犯罪防止になることがあります。

放火予防は「自分たちの地域は、地域全体で守る」という意識をもつことが重要です。

平成21年度全国統一防火標語

消えるまで

ゆっくり火の元

にらめっ子



▲訓練の報告を受ける永田さん

1日救急隊長。
1日消防長行事。

9月9日、渋川市役所保健福祉部地域包括支援センター所長補佐の高橋美恵子さんが、一日救急隊長を務めました。

この行事は、救急の日(救急医療週間)に合わせて、多くの人に救急業務に対する関心と理解を深めてもらうために行っているものです。

また、11月9日、吉岡町交通安全会婦人部長の永田佐智己さんが一日消防長を務めました。

これは、秋の全国火災予防運動期間(11月9日から15日)に合わせて行っているもので、火災予防思想の普及を図り、火災による死傷者および財産の損失を防ぐことを目的としています。

二人には、救急隊員や消防団員などの訓練の様子を見ていただきました。

平成21年度 渋川広域圏内 防火ポスターコンクール 入選者決定

渋川広域消防本部では、住民の防火意識を高めるとともに、火災の恐さに関心をもってもらうため、広域圏内の小・中学校に防火ポスターの募集をしたところ、250点の応募がありました。

審査を行った結果、最優秀賞2点、優秀賞4点、入賞50点が入選しました。

最優秀賞と優秀賞の受賞者は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

●最優秀賞(2名)



高橋 香織
渋川市立子持中学校 1年



宮崎 由菜
渋川市立渋川北小学校 5年

●優秀賞(4名)

栗田 夏希
吉岡町立吉岡中学校 2年

石井 あかり
渋川市立子持中学校 1年

池田 幸樹
渋川市立中郷小学校 3年

土橋 奈穂
渋川市立古巻小学校 2年

たくさんのご応募
ありがとうございました。



老朽化した消火器にご注意!

全国各地で消火器の破裂による人身事故が発生しています。
破裂の原因は、老朽化して腐食した消火器の使用によるものです。いざという時に使用する消火器の適正な保管と日常的な点検を行ってください。

○どうして消火器が破裂するのか？

一般的な粉末消火器は大きく分けて「加圧式」と「蓄圧式」の二種類があります。

加圧式粉末消火器には、二酸化炭素ボンベが内蔵されています。

安全栓を抜いてレバーを握ると加圧用の炭酸ガスボンベのガスが勢いよく吹き出し、消火器内部を加圧する圧力で薬剤が放出されます。

その時、消火器本体に腐食や変形があると、その部分が圧力に耐えられなくなり、破裂が起こることがあります。

○破裂の恐れがあるのは、こんな消火器です。

- 1 レバーや本体に傷や変形がある消火器
- 2 さびている消火器
- 3 ラベルに書かれた耐用年数を経過している消火器
(交換の目安は8年です)

○設置してはならない場所は、こんな場所です。

- 1 サビが発生しやすい湿気の多い場所
- 2 直射日光のあたる場所(容器の酸化を進めます)
- 3 建物の外部(屋外に設置する場合は専用ボックスに収納しましょう)
- 4 温度変化の大きい場所(腐食を早める場合があります)

○消火器を破棄するときは、不要になった消火器を処分する場合は、次のことに注意してください。

- 1 不燃物ごみの回収には出さないでください。
- 2 分解したり、放射したりしないでください。

○消火器の廃棄は、消防用設備等販売・点検業者に相談、依頼してください。

※消防署及び清掃センターでは回収・処分をしておりません。

平成20年度農業共済事業実績

農業を取り巻く環境が、農業従事者の高齢化や兼業化、輸入農産物の増加や低価格化などにより農業経営が厳しい情勢となる中、農業共済では「農業経営の安定と農業生産力の発展を図る」ことを目的として、各種共済事業を行いました。

農作物共済		農作物共済の水稲では、6月から7月の日照不足により一部での、いもち病などの発生や、中山間地はイノシシの被害、また麦では、は種後の長雨による土壌湿潤害、5月の風水害などにより共済金が支払われました。 
(水稲)		
引受戸数	1,588戸	
引受面積	42,633a	
共済金額	266,249千円	
支払共済金	240千円	
無事戻金	825千円	
損害防止費	586千円	
(麦)		
引受戸数	12戸	
引受面積	12.479a	
共済金額	26,653千円	
支払共済金	551千円	
無事戻金	17千円	
損害防止費	246千円	

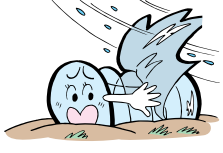
※麦の戸数は集落営農1組織も1戸として計上

家畜共済		家畜共済では、死廃頭数839頭、病傷件数2,267件に対し共済金が支払われました。
引受戸数	128戸	
引受頭数	28,212頭	
共済金額	874,201千円	
支払共済金	64,557千円	
損害防止費	2,089千円	
		

畑作物共済		畑作物共済の大豆では、発芽後、降雨に見まれ、一部の土壌湿潤害があり共済金が支払われました。 蚕繭では被害がなかったため共済金の支払いはありませんでした。
(大豆)		
引受戸数	3戸	
引受面積	457a	
共済金額	990千円	
支払共済金	81千円	
損害防止費	102千円	
(蚕繭)		
引受戸数	(延)73戸	
引受箱数	252箱	
共済金額	12,611千円	
支払共済金	0千円	
無事戻金	5千円	
損害防止費	621千円	



※大豆の戸数は集落営農1組織も1戸として計上

園芸施設共済		園芸施設共済では、風害などにより共済金が支払われました。
引受戸数	267戸	
引受棟数	827棟	
共済金額	625,312千円	
支払共済金	2,632千円	
損害防止費	251千円	
		

果樹共済(りんご)		果樹共済では、被害がなかったため共済金の支払いはありませんでした。
引受戸数	13戸	
引受面積	497a	
共済金額	29,190千円	
支払共済金	0千円	
無事戻金	548千円	
損害防止費	112千円	
		

建物共済		建物共済では、火災8件、落雷223件、自然災害5件、その他6件に対し共済金が支払われました。
引受棟数	11,848棟	
共済金額	137,239,890千円	
支払共済金	185,600千円	

●無事戻し制度

過去一定期間被害を受けなかった農家及び被害僅少農家に支払われる無事戻金については、農作物(水稲、麦)、果樹、畑作物(蚕繭)及び園芸施設共済で、総額2,382千円を支払いました。

●損害防止事業

農作物、果樹及び畑作物共済では病虫害防除薬剤を、家畜共済では病気と事故防止のため薬剤と補てい具等を、園芸施設共済では施設用補修資材を提供するなど、総額4,008千円で損害防止事業を実施し、被害の未然防止に努めました。

農業共済課および 渋川広域建物共済推進協議会は 本年11月24日より

渋川市赤城総合支所(2階)

へ移転しました



電話番号とFAX番号も変わりました。
どうぞよろしくお願いします。

- ◆農業共済事業は、平成22年4月1日からは県下一体制化され「群馬県農業共済組合（仮称）」となります。
- ◆渋川市赤城総合支所2階の農業共済課の隣に「赤城地区家畜診療所」があります。



新事務所

所在地：〒379-1104
渋川市赤城町敷島568番地1
(渋川市赤城総合支所2F)
電話番号：0279-20-6888
FAX番号：0279-20-6877



年末年始の休み

●清掃センター ☎23-0460

12月30日(水)から1月3日(日)まで休みになります。

搬入できる時間は、午前8時30分から午後4時30分(12時から1時を除く)までですが、午前は12時、午後は4時30分には退場できるよう余裕をもって、搬入してください。

年末は、家庭や事業所から持ち込まれるごみの量が非常に多くなり、搬入車両の大渋滞がおこりますので、「早めの搬出」にご協力をお願いするとともに、少量の家庭ごみの場合は、ごみ集積場への搬出をお願いします。

受付からの
お願い

一般家庭ごみを直接持ち込みされる場合は、お住まいの住所が確認できる運転免許証等を必ず持参し、窓口へ提示してください。

●環境クリーンセンター ☎23-3007

し尿汲み取りの下記許可業者は、12月29日(火)から1月4日(月)まで休みになります。

なお、(有)北群馬衛生社に限り、年始の営業は1月6日(水)からとなります。

年末のし尿汲み取りは、早めに許可業者へ依頼をしてください。

【許可業者名及び電話番号】

(有)渋川衛生社 ☎22-0923 (有)関東清掃社 ☎22-0294 伊香保運送(有) ☎72-2434
(有)北群馬衛生社 ☎54-2768 (有)群馬サポート ☎54-2322

※伊香保運送(有)については、伊香保地区内、(有)群馬サポートについては、榛東村地内の汲み取りとなります。

●しらゆり聖苑(火葬場・斎場) ☎30-3331

12月31日(木)の友引の日と1月1日(金)から1月3日(日)まで休みになります。

火葬式場の予約は、上記休みに関係なく24時間電話で申込ができます。

小動物の火葬予約については、休苑日(毎月友引の日と1月1日から1月3日まで)を除く、午前8時30分から午後5時15分までとなります。

消防団員を募集

消防団は、地域の防災のリーダーとして安心・安全を守るために活躍しています。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。また、平常時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動などに従事し、地域における消防力・防災力の向上において重要な役割を担

っています。

自分の住んでいる地域のために何かしたいと考えている方、ぜひ消防団への入団を考えてみてください。お互いに協力し合い充実した地域社会を築きましょう！

消防団員の募集受付は、各市町村で随時行っています。

●問い合わせ

渋川市役所 行政課 ☎22-2112
吉岡町役場 町民生活課 ☎54-3111
榛東村役場 総務課 ☎54-2211

